

## I 団体の概要

令和7年7月1日現在

団体名	公益財団法人姫路市救急医療協会				
団体所管課	健康福祉局 保健医療部 地域医療課				
設立	昭和53年(1978年) 3月31日				
資本金	40,200千円	市出資金	20,200千円	50.20%	
設立目的					
増大する救急医療需要に対処するため、姫路市における救急医療体制の確保及び充実を図り、もって地域住民の健康の保持・増進と福祉の向上に寄与することを目的とする。					
寄附行為(定款)に掲げる事業					
(1) 姫路市休日・夜間急病センターの管理運営事業 (2) その他この法人の目的を達成するために必要な事業					
主 な 事 業	事業名	R8年度事業費 (予算額)	事業概要		
	急病センター指定 管理	559,394千円	姫路市休日・夜間急病センターの管理運営事業(指定 管理)		
	急病センター管理 受託	362,114千円	姫路市の急病患者の第二次救急医療施設への後送事 業、小児救急医療体制推進事業		
役 職 員 数 (注1)		常勤(注2) (うち市派遣)	非常勤	一般職 (うち市派遣)	嘱託・ 臨時等
	役員数	1人(1人)	19人	職員数	18人(0人)
	役員平均年齢(常勤)	歳	役員平均年収(常勤)		
	職員平均年齢(一般職)	44.5歳	職員平均年収(一般職)		6,328千円
年 度		R5	R6	R7(決算見込み)	
市 か ら の 財 政 支 出 等	委託料	857,089千円	856,673千円	914,863千円	
	補助金				
	貸付金 (年度末残高) 損失補償の対象 となる借入金				
財 務 概 況	当期収入	857,189千円	856,682千円	914,880千円	
	当期支出	852,813千円	861,078千円	918,880千円	
	当期収支差額	4,376千円	-4,396千円	-4,000千円	
	次期繰越収支差額	23,462千円	19,066千円	15,066千円	
概	総資産	210,489千円	230,337千円	231,000千円	
	総負債	147,027千円	171,271千円	175,934千円	
況	当期正味財産増減額	4,376千円	-4,396千円	-4,000千円	
	正味財産	63,462千円	59,066千円	55,066千円	
ホームページアドレス		<a href="https://www.himeji99iryo.or.jp/">https://www.himeji99iryo.or.jp/</a>			

注1: 役員平均年齢、役員平均年収、職員平均年齢、職員平均年収には、市からの派遣職員は含まない。

注2: 常勤役員には、週29時間以上勤務する常勤的な非常勤役員を含む。

## II 基本方針

### 1. 団体の前計画期間（令和3年度～令和7年度）における主な取組実績

- ・不要不急の受診を控えるよう案内するとともに、受付時に記入する診療申込書を掲載するなど、ホームページの内容を充実した。
- ・待合人数のインターネットでの公開や呼出順番通知機能の追加を行い、患者の利便性向上と院内待ち時間の短縮を図った。
- ・新型コロナウイルスが蔓延していた時の一次救急としての役割を担った。
- ・電子カルテを導入し、待ち時間短縮などに取り組んだ。

### 2. 団体を取り巻く環境・経営上の課題

- ・内科、小児科とも、医師の高齢化と新規開業医師の減少から、急病センターに出務する医師の確保が年々困難な状況となっている。
- ・看護師についても人員の確保・充実が困難な状況となっている。
- ・後送医療機関にあっては、医師不足や採算性の悪化に伴い救急医療から撤退する医療機関が発生しており、輪番体制を維持することが困難になっている。

### 3. 団体の将来像（ビジョン）

姫路市における一次救急医療の分野において、団体の有する専門知識やノウハウ、機動性を活かして、市が直接行うには効率的でなく、かつ民間が担いきれない救急医療の推進や不要不急の患者を抑制し、適正受診を促す啓発活動等の事業の実施を通じて、安心安全な市民生活を守る役割を果たす。

### 4. 団体の改革の方向性

団体の設立目的である救急医療体制の確保及び充実を図り、地域住民の健康の保持・増進と福祉の向上に寄与する公益目的事業の運営に特化した団体を目指す。  
収益事業については、その範囲を公益目的事業を補完するものに絞り込んでいくとともに、診療報酬の増加や支出減に向けた見直しに取り組む。

## Ⅲ 健全経営に関する計画

計画期間：令和8年度～令和12年度

## 1. 経営目標

目標	市民が安心して暮らせる救急医療体制の確保
目標達成に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要不急の患者を抑制し、適正受診を促す。</li> <li>安定的な診療体制を維持する。</li> </ul>

## 2. 数値目標・指標

健全経営に関する数値目標	令和6年度実績値	目標値（令和12年度）
診療体制	医師：夜間2名、休日昼間5名、看護師：夜間5～6名、休日昼間9名、事務員：夜間2～3名、休日昼間4～5名	医師：夜間2名、休日昼間5名、看護師：夜間4～5名、休日昼間8名、事務員：夜間2～3名、休日昼間3～4名
後送医療体制（後送輪番の充足率）	91.8%	95.0%

## 経営目標達成に向けた取組みの進捗状況やその成果を測るための指標

公募医師以外の出務率・正規看護師の充足率

後送輪番の充足率

## 3. 事業運営の最適化

事業の最適化及び事業実施方法の適正化	
急病センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要不急の患者を抑制し、適正受診を促すための市民啓発を行う。</li> <li>医師、看護師等医療従事者の確保に務める。</li> </ul>
急病センター管理受託事業	令和7年1月から後送事業は、実績を考慮した算出方法に変更した。

利用者満足度の把握・改善	利用者アンケートを実施し、利用者のニーズ・満足度を把握する。
--------------	--------------------------------

## 4. 団体運営体制の改善

## (1) 執行体制

役員体制	現在の体制を維持しつつ、定款に定める役員定員の枠内で、救急医療に見識が深い医師等を新たに理事に選任することを検討する。
職員体制	現在の体制を原則とするが、職員増による事務体制の強化について検討する。
リスク管理の強化	各種のマニュアル等を適宜適切に見直し、個人情報等の管理及びコンプライアンスについても徹底を図る。

(2) 人事・給与

「外郭団体の職員の給与及びその他の勤務条件に関する指導基準」への適合	指導基準に適合済である。
人材育成及び士気の高揚	研修により職員の資質向上を図る。看護師については、兵庫県看護協会等の研修会に参加してスキルアップを図る。

(3) 財務管理

収入確保の取組み	指定管理料の適正な額が確保できるよう、市及び医師会との連携に努める。
基本財産等の運用	ペイオフ対策として預金の分散化を図っている。

5. 財務状況の見通し（試算）

年度		R8	R9	R10	R11	R12	
財	管急 理病 運セ	当期収入	559,394千円	560,233千円	561,073千円	561,914千円	562,756千円
		当期支出	559,394千円	560,233千円	561,073千円	561,914千円	562,756千円
	営ン 事タ 業	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
務	管急 理病 受セ	当期収入	362,114千円	362,657千円	363,200千円	363,744千円	364,289千円
		当期支出	362,114千円	362,657千円	363,200千円	363,744千円	364,289千円
	託ン 事タ 業	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
概	合	当期収入	921,508千円	922,890千円	924,273千円	925,658千円	927,045千円
		当期支出	921,508千円	922,890千円	924,273千円	925,658千円	927,045千円
	計	当期収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		次期繰越収支差額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
況		総資産	231,000千円	231,000千円	231,000千円	231,000千円	231,000千円
		総負債	175,934千円	175,934千円	175,934千円	175,934千円	175,934千円
		当期正味財産増減額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
		正味財産	55,066千円	55,066千円	55,066千円	55,066千円	55,066千円

※令和8年度より、電話相談事業廃止。R3～R7年の計画と同様に市からの収入は毎年0.15%増を見込んでいる。